

令和6年度ごみ有料指定袋減免申請受付 特別窓口を設置します

表1に記載の減免対象の方に、ごみの有料指定袋を交付します。

日時・交付枚数表2・3の通り**持ち物**本人確認書類(健康保険証、運転免許証、障害者手帳など)。認め印は不要。表1の②に該当する方は受給証、③~⑥に該当する方はそれぞれ交付されている手帳、⑦に該当する方は後期高齢者医療被保険者証。代理人が申請する場合は、委任状(様式は任意)と代理人の本人確認書類(備考)初日の待ち時間は長時間になる可能性あり。持ち帰り用の袋の用意なし。必要に応じて要持参ID1010966印各交付場所に備え付けの申請用紙に必要事項を記入し、窓口へエコプラザ多摩内資源循環推進課☎(338)6836・FAX(356)3919

▼表1 対象世帯

①生活保護を受けている世帯
②児童扶養手当を受給している世帯
世帯全員の市民税が非課税で、右記要件に該当する世帯
③特別児童扶養手当を受給している
④在宅で生活している、愛の手帳に1度または2度と記載されている方がいる
⑤在宅で生活している、精神障害者保健福祉手帳に障がいの程度が1級と記載されている方がいる
⑥在宅で生活している、身体障害者手帳(1級または2級)をお持ちの方がいる
⑦75歳以上のみで構成する世帯

▼表2 減免申請の受付日時と交付場所

日程	時間	交付場所
3/1(金)~6(水)(3日を除く)	10:00~16:30	多摩センター駅出張所
3/14(木)~18(月)		永山公民館ギャラリー
3/28(木)、4/1(月)・2(火)		市役所東庁舎1階特設会場
4/9(火)~11(木)		健康センター1階特設会場

※エコプラザ多摩では、3/1以降の平日と祝日の8:30~17:00に受け付け(年末年始を除く)
※土・日曜日、祝日の場合は、当日に課税状況などの確認が取れない場合あり

▼表3 交付する袋の枚数

世帯人数	燃やせるごみの袋	燃やせないごみの袋	プラスチックの袋
1人~2人	80枚(10ℓ)	10枚(10ℓ)	20枚(20ℓ)
3人~4人	80枚(20ℓ)	10枚(20ℓ)	30枚(20ℓ)
5人以上	120枚(20ℓ)	10枚(20ℓ)	40枚(20ℓ)

※()内は袋の容量。申請の時期により、交付枚数の変更あり

令和5年度

まち美化貢献者・団体の表彰を行いました

多摩市まちの環境美化条例第7条に基づき、公共の場所でのごみ拾い活動など「まちの環境美化」に長年貢献していただいた6団体・1人を、12月3日に表

彰しました。今後ともまちの環境美化にご協力をお願いします。



受賞者・団体	FORCE
	コスモフォーラム多摩管理組合
	花の階段
	Gサポーターズ
	子ども子育て安心まちづくりサークル
	歴史古街道団 中村くるみさん

ID1002291 環境政策課 ☎(338)6831

令和5年度ごみ減量標語表彰式を行いました

身近な生活環境問題であるごみ問題について、理解と認識を深めてもらうための啓発の一環として募集し、最優秀の2作品を、12月3日に表彰しました。今後ともごみ減量にご協力をお願いします。

ル 小さな努力 素敵な未来」(市内在勤 知名一義さん) ID1013512 資源循環推進課 ☎(338)6836

最優秀賞「捨てるたび 明日の地球を 考える」(多摩第二小学校 奥村理世さん)、「リサイク



TAMAサステナブル・アワード2023受賞団体が決まりました!

2回目の今回は、6つの部門に計11団体から応募があり、次の6団体が受賞されました。また、表彰式と併せて講演会「市民一人ひとりが実践できる環境配慮・サステナブルな生活」とパネルディスカッションを開催しました。講演会などの様子は、YouTube多摩市公式チャンネルで配信予定です。

ID1013755 環境政策課 ☎(338)6831・FAX(338)6857

市は、市議会と共に行った「多摩市気候非常事態宣言」を市民の皆さんとともに前へ進めていくため、地域・学校・企業などで実践されている持続可能なライフスタイルや環境に優しい取り組みを表彰しています。受賞団体やその取り組み内容を広く周知することで、多くの方が共感し、環境に対する一人ひとりの意識啓発・行動につなげていくことを目的としています。



▲受賞団体に多摩産材でできた表彰楯を贈呈しました

地球温暖化対策部門

なな山緑地の会

和田緑地保全の森(通称「なな山」)に残る里山保全活動を約20年間実施しています。里山の維持を進めることはCO₂の吸収につながり、地球温暖化防止にも貢献しています。



グッドライフスタイル部門

帝京大学小学校

学校内の里山の復活を目指す「里山プロジェクト」として、里山に親しみながら里山を知る・守る・利活用する活動を実施しています。学校の畑や植栽などすべてを里山として、学習と実践的な活動をつなげる場として活用しています。



プラスチック・スマート部門

住友ゴム工業(株)

市内のテニスコートで、人工芝から発生するマイクロプラスチックの調査と流出抑制対策の実証実験を行っています(テニス用砂入り人工芝の公表事例としては国内初)。



大学・高校部門

greenbird多摩・高幡不動チーム

「ごみを楽しく拾う」「ごみを拾ってまちづくり」をキーワードに、月に1回多摩センター駅周辺で清掃活動を実施している学生ボランティア団体です。定期的に活動を行うことでポイ捨てをしにくい街を作ります。



生物多様性保全部門

多摩市水辺の茶校運営協議会

多摩川や大栗川などで、子どもたちが自然の仕組みや大切さを体験できるイベントを13年間実施しています。小学校でも河川環境への意識づくりを行っています。



中学・小学校部門

多摩第一小学校

地域の方と連携した移动式えねこや(エネルギーの小屋)体験や、自分たちで作ったエネルギーを活用したイルミネーション点灯など、再生可能エネルギーと省エネの必要性について学んでいます。

